



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 松井証券株式会社

コード番号 8628 URL <http://www.matsui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松井 道夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 鶴澤 慎一

TEL 03-5216-0606

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%								
26年3月期第3四半期	31,363	154.4	30,499	161.3	21,690	361.8	21,772	359.9	13,117	335.7
25年3月期第3四半期	12,330	—	11,674	—	4,697	—	4,734	—	3,010	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	51.09	—
25年3月期第3四半期	11.73	—

当社は、平成24年3月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、平成25年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成25年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第3四半期	797,193	—	82,785	—	10.4	322.46
25年3月期	610,804	—	80,841	—	13.2	314.89

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 82,785百万円 25年3月期 80,841百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年3月期	—	30.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

※当社の主たる事業である証券業の業績は相場環境に大きく左右され、業績予想を行うことが困難であることから、業績予想は開示しておりません。この点を補うために、業績に重要な影響を及ぼす株式委託売買代金等の業務数値につきましては、月次で開示しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	269,264,702 株	25年3月期	269,264,702 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	12,533,023 株	25年3月期	12,532,947 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	256,731,687 株	25年3月期3Q	256,731,775 株
----------	---------------	----------	---------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における株式市場は、日銀による異次元の金融緩和策を受け、期首に12,000円台であった日経平均株価は上昇を続け、5月後半には約5年半ぶりに終値ベースで15,600円を上回りました。しかしながら、長期金利が上昇したことや急速な株価上昇に対する警戒感が広がったこと等により株価は下落に転じ、一時12,500円を割り込む水準まで落ち込みました。9月以降は、2020年東京五輪の開催が決定したことや、米国における量的金融緩和の継続に対する期待感等を背景に、上値を迫る展開となりました。12月末にかけて円安が進展したことも追い風となり、年末の日経平均株価は16,291円と終値ベースで年初来高値を更新しました。

二市場（東京、名古屋の各証券取引所）合計の株式売買代金は、前第3四半期累計期間と比較して大きく伸び、135%増加しました。また、当社の主たる顧客層である個人投資家についても、株価上昇の影響により買い余力が向上し取引の拡大につながりました。さらに、昨年1月より信用取引の規制緩和が行われたことも売買の増加に大きく寄与しました。その結果、市場全体の個人株式委託売買代金は、前第3四半期累計期間と比較して282%増加しました。なお、市場における個人の株式委託売買代金の割合も、前第3四半期累計期間の17%から28%に上昇しております。

このような事業環境のもと、当社は、信用取引の規制緩和に合わせて導入したデイトレード限定の信用取引「一日信用取引」について、売建取扱銘柄の拡充や発注機能の強化、銘柄情報の拡充を実施する他、スマートフォン対応を開始する等、利便性の向上に努めました。当社の株式委託売買代金については、個人の売買が大きく伸びたことに加え、一日信用取引が牽引したこともあり、前第3四半期累計期間と比較して441%増加しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の営業収益は313億63百万円（対前第3四半期累計期間比154.4%増）、純営業収益は304億99百万円（同161.3%増）とともに増収となりました。また、営業利益は216億90百万円（同361.8%増）、経常利益は217億72百万円（同359.9%増）、四半期純利益は131億17百万円（同335.7%増）とともに増益となりました。

(受入手数料)

受入手数料は219億54百万円（同182.3%増）となりました。そのうち、委託手数料は211億11百万円（同199.6%増）となりました。なお、株式委託売買代金は前第3四半期累計期間と比較して441%増加いたしました。

(トレーディング損益)

トレーディング損益は10百万円の利益となりました。

(金融収支)

金融収益から金融費用を差し引いた金融収支は85億32百万円（同119.1%増）となりました。

(販売費・一般管理費)

販売費・一般管理費は、株式委託売買代金の増加に伴い前第3四半期累計期間比26.3%増の88億9百万円となりました。うち、取引関係費は37億17百万円（同65.8%増）となりました。

(営業外損益)

営業外損益は、合計で83百万円の利益となりました。これは主として、受取配当金68百万円によるものです。

(特別損益)

特別損益は、合計で6億36百万円の損失となりました。これは主として、金融商品取引責任準備金繰入れ6億35百万円を計上したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末比30.5%増の7,971億93百万円となりました。これは主として、顧客分別金が増加したことにより、預託金が同47.2%増の4,417億45百万円となったことや、信用取引貸付金が同17.2%増の2,911億71百万円となったことによるものです。

負債合計は、前事業年度末比34.8%増の7,144億8百万円となりました。これは主として、株式相場の活況を受けて預り金が同72.9%増の2,622億27百万円、受入保証金が同45.4%増の2,179億89百万円となったことによるものです。

純資産合計は前事業年度末比2.4%増の827億85百万円となりました。当第3四半期累計期間においては、四半期純利益131億17百万円が計上される一方、平成25年3月期期末配当金及び平成26年3月期中間配当金128億37百万円の計上を行っております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主たる事業である証券業の業績は相場環境に大きく左右され、業績予想を行うことが困難であることから、業績予想は開示しておりません。この点を補うために、業績に重要な影響を及ぼす株式委託売買代金等の業務数値につきましては、月次で開示しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	8,857	9,324
預託金	300,116	441,745
金銭の信託	19,067	22,472
トレーディング商品	1,402	1,457
商品有価証券等	0	0
デリバティブ取引	1,402	1,457
約定見返勘定	—	885
信用取引資産	252,751	297,015
信用取引貸付金	248,476	291,171
信用取引借証券担保金	4,275	5,844
有価証券担保貸付金	12,225	5,323
借入有価証券担保金	12,225	5,323
立替金	20	36
短期差入保証金	3,749	3,380
その他	4,280	5,160
貸倒引当金	△20	△12
流動資産計	602,447	786,785
固定資産		
有形固定資産	927	1,015
無形固定資産	3,271	2,584
ソフトウェア	3,266	2,580
その他	5	4
投資その他の資産	4,158	6,809
投資有価証券	3,562	6,146
その他	2,556	2,193
貸倒引当金	△1,959	△1,530
固定資産計	8,357	10,408
資産合計	610,804	797,193

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
トレーディング商品	611	837
商品有価証券等	0	—
デリバティブ取引	611	837
約定見返勘定	71	—
信用取引負債	47,790	39,489
信用取引借入金	3,360	3,247
信用取引貸証券受入金	44,431	36,242
有価証券担保借入金	36,598	38,760
有価証券貸借取引受入金	36,598	38,760
預り金	151,654	262,227
受入保証金	149,923	217,989
有価証券等受入未了勘定	7	—
短期借入金	137,525	143,100
未払法人税等	2,976	6,821
賞与引当金	112	259
その他	1,161	1,773
流動負債計	528,430	711,256
固定負債		
長期借入金	—	200
繰延税金負債	226	1,010
未払役員退職慰労金	204	204
その他	3	3
固定負債計	433	1,417
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	1,100	1,735
特別法上の準備金計	1,100	1,735
負債合計	529,963	714,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,945	11,945
資本剰余金	9,793	9,793
利益剰余金	66,378	66,658
自己株式	△9,475	△9,475
株主資本合計	78,641	78,921
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,200	3,864
評価・換算差額等合計	2,200	3,864
純資産合計	80,841	82,785
負債・純資産合計	610,804	797,193

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業収益		
受入手数料	7,776	21,954
委託手数料	7,046	21,111
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	6	5
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	0	0
その他の受入手数料	725	838
トレーディング損益	0	10
金融収益	4,550	9,396
その他の営業収益	4	4
営業収益計	12,330	31,363
金融費用	656	864
純営業収益	11,674	30,499
販売費・一般管理費		
取引関係費	2,243	3,717
人件費	1,366	1,607
不動産関係費	696	685
事務費	1,229	1,325
減価償却費	1,336	1,227
租税公課	76	186
貸倒引当金繰入れ	△56	△63
その他	88	125
販売費・一般管理費計	6,977	8,809
営業利益	4,697	21,690
営業外収益		
受取配当金	26	68
その他	12	17
営業外収益計	38	85
営業外費用		
その他	0	3
営業外費用計	0	3
経常利益	4,734	21,772
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	98	—
特別利益計	98	—
特別損失		
投資有価証券売却損	43	—
固定資産除売却損	5	1
金融商品取引責任準備金繰入れ	—	635
特別損失計	48	636
税引前四半期純利益	4,785	21,136
法人税、住民税及び事業税	1,555	8,495
法人税等調整額	219	△476
法人税等合計	1,774	8,019
四半期純利益	3,010	13,117

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。